

(仮訳)

日本の人々を記憶に刻む - グリア OECD 事務総長からのメッセージ

2016年3月11日-

2011年の東日本大震災5周年に際し、グリア OECD 事務総長は、被災した家族及び地域に対する強い支持を表明し、この分野において、そしてその他多くの重要な課題において日本と密接に協働していく強い決意を強調しました。

「我々は、過去5年間、日本の人々に前代未聞の強靭さを見ました。我々は、彼らの勇気に敬意を表するとともに、日本が震災からより強くなって復興していることを知っています。私は4月に東京に行き、そこで日本の復興に向けた努力について聞くこととなります。我々は、震災の後、OECD 東北スクール・プロジェクトを通じ日本を助けるとともに、及び OECD 原子力機関は引き続き日本と原子力の安全とその規制の向上に関し緊密に協力しています。11月5日の世界津波の日を通じ、我々は世界の災害管理の重要性についての意識向上のために日本政府と協力します。

私はこのことを2011年にも申し上げましたが、いま再び申し上げます。我々は、東日本大震災を乗り越える人材、経済的な豊かさ、技術及び規律についてのすばらしい蓄積に裏打ちされた日本の力について絶対の信頼を堅持しております。」